

いよいよ2学期スタート！

本市では、8月25日から2学期が始まります。この日、約40日間の長い夏休みを終え、子どもたちの元気な声が響くにぎやかな学校が戻ってきました。校舎内では、この日に合わせ、地域の方がたくさんの花を持って来てくださり、華やいた雰囲気の中でスタートを切ることができました。

今夏は、例年以上の暑さが続き、熱中症等の体調不良が大いに心配されるものでした。

また、7月28日には令和8年熊本地震が発生しました。本校でも揺れがあり、ご家庭や地域の皆様も、地震の怖さとともに、余震を心配する日々を過ごされたのではないかと思います。

加えて、大雨の被害も各地で見られ、天災も容赦なく私たちの生活を脅かしています。

このような中、2学期を迎えたこの日、大きな事故なく子どもたちが元気に登校してくれたことを、大変うれしく思っております。

さて、始業式で集合した子どもたち。その姿は、これまでと同様、背筋がピンと伸び、顔つきも凛々しく、2学期に向けて気持ちが既にスタートしていることが大いに伝わってくるものでした。

校長の話の中で、子どもたちに、学校教育目標の“自ら気づき考え挑戦”と繋ぎ、夏休み中の様子を尋ねてみました。

すると、「お父さんとお母さんが仕事で疲れていると思い、自分がお米をとぎました」「児童クラブで、遊び道具が片づけられていないことに気づき、片づけた方がいいと思って片づけました」等教えてくれました。

このように、学校生活以外の場でも、自ら考え行動する子どもの姿があったことを大変うれしく、また頼もしく思いました。

時間の関係で、全員に発表してもらうことはできませんでしたが、他の子どもたちもそれぞれに、自ら気づき考え行動した姿があったのではないかと思います。



2学期は、運動会、なかよし発表会と、大きな行事が待っています。また、暑さがだんだんと和らぎ、学習に集中しやすい最適な時期にもなります。始業式の子どもたちの表情や姿から、この2学期も、学校生活の一つ一つを大事にし、大きく成長してくれるであろうと、大いに期待したところです。

我々教職員も、学校教育目標の実現とともに、子ども一人一人に豊かで確かな学びが身につくよう、一丸となって尽力してまいります。

保護者や地域の皆様、2学期も引き続きご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

先生たちも頑張りました～夏休み校内研修～

夏休みは、教職員にとっても、個々の力量アップを図る機会となります。1学期の取組の実践発表研修や模擬授業研修、講師を招聘しての研修など、さまざまな校内研修を行いました。

7月23日（木）は、各クラスの学級活動における実践発表を行いました。

1学期の子どもたちが中心となって発案・計画・実践したよりよい学級づくりに向けた取組について、職員で共有しました。



2・3年生の学級

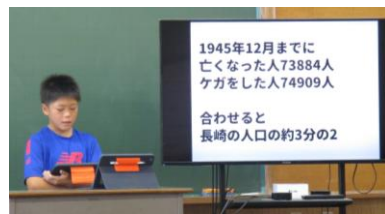
（複式）では、1学期当初、クラスのみんがが楽しめるようにと、“本クイズ係”を作ったそうです。係になった子どもたちが、自主的に図書室からクイズの本を借りてクラスで出題したり、時には自分たちでクイズを考えて出題したりするなど、クラスのみんがを楽しませようと励む姿が見られたそうです。

係活動は、先生の下請け活動ではありません。子どもたちがアイデアを出し合いながら、楽しい学級生活を送るための活動を計画し、実行する取り組みとなります。

各教室の係活動の状況を出し合う場が、それぞれの職員にとって触発し合う機会となり、よりよい実践へと繋ぎ、子どもの姿へと還元できることを願っています。

平和を願って～平和集会～

8月6日（木）は、登校日で平和学習を行いました。集会では、6年生が修学旅行で訪れた長崎市平和公園や原爆資料館での見学から学んだことを、その時に撮影した映像とともに発表してくれました。



6年生は最後に、「戦争は二度と繰り返してはいけない」

「戦争がどれだけ恐ろしく残酷か、周りの人に伝えていくことが大事だ」「平和に感謝し、今を大事にして暮らしていきたい」と、戦争や平和に対する自身の思いを、力強く下級生に伝えました。

集会の最後に下級生から、「戦争は人の命を無くすことであり、戦争はいけない」等の感想発表があり、過去の事実から、子どもたちが戦争の悲惨さや平和の尊さについて改めて見つめる大事な時間となりました。

平和集会では、毎年保護者の方が、『子どもたちの幸せを願い、平和を語っていこう』と、引き継いできている手作り大型紙芝居を用いた読み聞かせを行ってくださっています。今回は、“よっちゃんのビー玉（児玉辰春作）”を読み聞かせてくださいました。

また、この日に向けて、親子での平和へのメッセージ書きにも取り組んでくださいました。

保護者の皆様、ご協力、大変ありがとうございました。